

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月19日(水)

事務事業		排水設備等管理事務		担当課	下水道工務課	担当係	維持係	管理番号	43111
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり	根拠法令 個別計画等	下水道法、深谷市下水道条例、深谷市下水道条例施行規程、深谷市公共下水道処理区域外流入に関する規程、深谷市下水道指定工事店規程、深谷市下水道指定工事店等の違反行為に対する処分規程				
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化						
	主要プロジェクト								
事業概要		排水設備設置及び施工承認における申請受付、審査、検査、是正指導を行う。また、法令・例規に基づき、深谷市下水道指定工事店の登録、更新、指導を行う。							
目的 ※何のために		・汚水の円滑な排除							
対象 ※誰・何を対象に		・各申請者及び排水設備・下水道施設 ・深谷市下水道指定工事店の指定を受けようとするもの及び指定を受けているもの							
手段 ※どのように		・申請に対する技術的基準適合有無の審査、完了後の検査実施、不適合に対しての是正指導実施 ・申請を受領し、審査・指定を行う。また、不適正行為に対して行政指導・処分を行う。							
成果 ※何を求めるか		・排水設備及び下水道施設の設置基準等との適合を確認することで、性能、品質を確保する ・深谷市下水道指定工事店の適切な管理・監督							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・排水設備設置等審査、検査、是正				・			
		・施工承認工事審査、検査、是正				・			
		・指定工事店の指定、更新				・			
		・指定工事店への指導				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	1.79	1.79	1.79	1.79		
	人件費相当試算※	14,086,508.00	14,338,196.00	14,966,011.00	14,966,011.00		
総事業費試算		14,086,508	14,338,196	14,966,011	14,966,011		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	排水設備工事申請受付件数	目標値	件						
		実績値		675.00	569.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請によるため目標設定できない / 宅内申請受付件数（年度）						
	実績値の算出式								
活動指標 2	本管・公共樹等の申請受付件数	目標値	件						
		実績値		131.00	116.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請によるため目標設定できない / 施工承認申請受付件数（年度）						
	実績値の算出式								
成果指標 1	完了検査実施率	目標値	%	100.00	100.00				
		実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		完了届受理分はすべて検査実施 / 完了検査実施数／完了届受理数						
	実績値の算出式								
成果指標 2	検査不合格工事の割合	目標値	%	0.00	0.00				
		実績値		0.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		不良工事はすべて是正指導の上、適合させる / 不適合工事数／完了検査実施数						
	実績値の算出式								
活動指標 3	指定工事店数	目標値	社						
		実績値		244.00	237.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請による指定のため目標設定できない / 指定工事店数（年度末時点）						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	宅内申請受付件数は569件、施工承認申請受付件数は116件であった。 指定工事店数は、2社から新規登録の申請を受け、指定工事店として指定した。 また、廃業や更新辞退による取り消しが9店あったため、指定工事店数は前年に対し7店減の237店となった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	提出のあった申請書の完了検査を全て実施し、検査不合格工事はなかった。
			評価者 維持係長 金井 辰裕

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	法令等に基づき、指定工事店から提出される申請書類の審査、完了検査及び是正指導等を行い、適正に事務事業を執行することができた。ICTを活用して事務改善に結びつけている事例が全国的に見受けられる。本市としてもICT技術の研究、近隣市町の動向を注視し、事務改善に向けた取り組みを進めていく。
			評価者 維持係長 金井 辰裕

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	排水設備等管理事務	担当課	下水道工務課	担当係	維持係	管理番号	43111
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>法令等に基づき、申請書類の審査や完了検査等を適切に実施することができた。 ICTを活用した事務改善に取り組む自治体が増えてきており、本事務事業については、電子申請の導入などが考えられる。「現状のまま継続」しつつも、事務改善に向けた取り組みを研究し、検討を進めていく。</p>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	下水道工務課長 関口 勝				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

